S 特別レポート
情報提供資料
2026年11月4日号
ストラテジック・リサーチ部
MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

Focus

米中間選挙は民主党が両院多数派獲得、AI規制懸念等から株価が下落

- 民主党が上下両院で多数派を獲得
- 共和党地盤でも民主党躍進、トランプ政権へ厳しい審判
- 民主党によるAI規制懸念などから株式市場は下落

■ 民主党が上下両院の多数派を獲得

開票作業が進む米中間選挙(日本時間4日16時時点)は、上院が拮抗するとの事前予想を覆し、早々に上下両院で民主党が多数派を獲得、オールブルー(民主党による上院・下院両院の多数派獲得)となりました(図1)。

カンザス州やテキサス州など、従来共和党優位とされる州でも民主党が躍進。関税やイラン戦争を巡るトランプ現政権の政策への厳しい見方が示された格好です。

■ 現政権の軸足は内政から外政へ移る公算

上院はFRB理事や最高裁判事など主要人事の承認権を持つため、民主党の政策遂行力が高まる見込みです。ただし、民主党はオールブルーといえどフィリバスター(議事妨害)回避に要する上院60議席に届かず、大統領が持つ法案拒否権に鑑みても、大幅な政策転換は困難でしょう(図2)。来年1月の新議会発足後、大統領弾劾(下院過半数で訴追、上院3分の2賛成で有罪)や債務上限引き上げを巡り、議会運営は停滞する懸念があります。

すでにトランプ政権は大統領拒否権を活用する姿勢を明確化。さらに政策の軸足は、財政政策など議会協力を要する内政から、関税・移民・外交政策など大統領権限の大きい外政に移ると見られます。来年1月まで保留とされた対中関税や、選挙後に攻撃激化との報道もあるイラン戦争を含めた地政学リスクの再燃に注意が必要です。

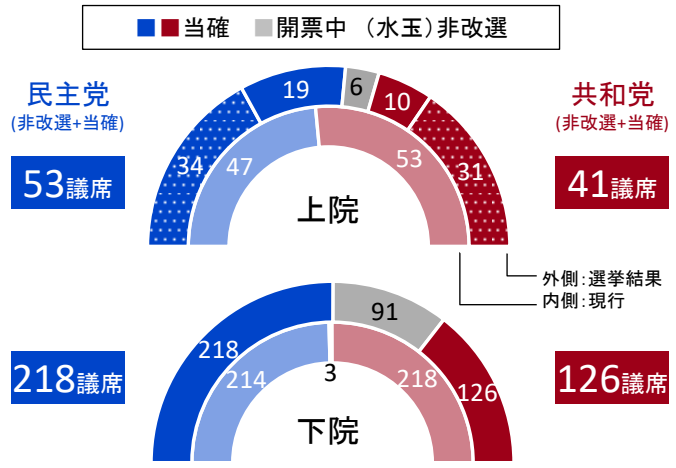
■ AI規制懸念から市場はリスクオフの流れに

議会選挙に加え、同時に行われる州知事選でも、データセンター建設拡大に慎重な民主党候補が躍進。AI規制への警戒や、企業減税・規制緩和への期待後退から、株式市場は下落、為替市場では円高・ドル安、債券市場では金利低下で反応、その後は反発しています(図3)。

ただし、過去の中間選挙後には、政治的不透明感の後退から株価が反発する傾向がみられたほか、民主党主導の法案成立にも一定の制約があります。本選挙結果によるAIブームへの下押し圧力は未知数であり、政策実行可能性を見極めつつ冷静な判断が必要でしょう。（牧）

【図1】拮抗予想の上院含め、上下両院を民主党が多数派獲得

米国　選挙結果速報(日本時間16時時点)



注）外側選挙結果の灰色は結果未判明、下院の内側選挙前3議席は無所属または空席。
今回の選挙結果は日本時間2026年11月4日16時時点の各種報道に基づく。

出所）LSEGより三菱UFJアセットマネジメント作成

【図2】大統領権限強く、議会側の政策実行力には制限あり

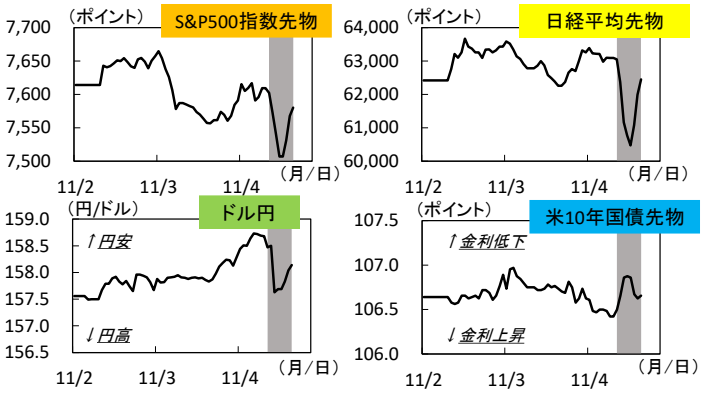
米国　主なテーマと民主党優勢時のシナリオ

テーマ	大統領権限	議会権限	民主党優勢時のシナリオ	市場反応
法律	○（拒否権あり）	◎	・AI・データセンター規制の強化 ・減税や親企業的な財政刺激策の減少	株式▼
予算 債務上限	○	◎	・財政刺激策の縮小(財政収支の改善) ・予算や債務上限を巡る交渉の難航	金利▽
関税 外交	◎	△	・追加関税の濫発 ・イラン戦争の更なる攻撃激化	金利▲
人事	○	○	・FRB理事や最高裁判事は大統領が指名し上院が承認 ・人事承認の遅れ・難航	不透明
その他	大統領は、大統領権限や行政命令を通じて議会多数派に依らず政策対応が可能			－

出所）各種報道より三菱UFJアセットマネジメント作成

【図3】米株安・金利低下、ドル安円高で反応もその後反発

日米　金融市場動向



注）直近値は2026年11月4日15時(日本時間)。
大部分の地域の投票締切時刻である4日8時(日本時間)以降を色付け。

出所）Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント ストラテジック・リサーチ部リサーチグループの見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定･運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

MUFG
三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会